公益財団法人 東海ジェンダー研究所2026年度
賛助会員のつどい（公開）

映画 黒川の女たち 上映とアフタートーク



参加費 無料

日　時　2026年 12/13(日)
13:20～16:00

会　場　名古屋国際センター 別棟ホール
（名古屋市中村区那古野1-47-1）

定　員　80名

アフタートーク　松原 文枝さん（映画監督）

この映画を撮影した松原監督をお迎えして、アフタートークを行います。

プログラム

13:00	受付開始
13:20	開会・あいさつ
13:30	映画上映（99分）
15:10	休憩
15:20	アフタートーク
16:00	終了

申込方法
12月4日(金)までに、インターネットまたはFAXでお申し込みください。
詳しくは、本状裏面をご覧ください。
お申し込み後、定員内の場合は特にご連絡いたしません。当日、会場へお越しください。
事前の申し込みなしではご入場いただけません。

主　催　公益財団法人 東海ジェンダー研究所

お問合せ先　東海ジェンダー研究所事務局
TEL：052-324-6591　FAX：052-324-6592
E-mail：info@libra.or.jp　HP：https://libra.or.jp

80 年前の戦時下、国策のもと実施された満蒙開拓により、中国はるか満州の地に渡った開拓団。日本の敗戦が色濃くなる中、突如としてソ連軍が満州に侵攻した。守ってくれるはずの関東軍の姿もなく満蒙開拓団は過酷な状況に追い込まれ、集団自決を選択した開拓団もあれば、逃げ続けた末に息絶えた人も多かった。そんな中、岐阜県から渡った黒川開拓団の人々は生きて日本に帰るために、敵であるソ連軍に助けを求めた。しかしその見返りは、数えで 18 歳以上の女性たちによる接待だった。接待の意味すらわからないまま、女性たちは性の相手として差し出されたのだ。帰国後、女性たちを待っていたのは労いではなく、差別と偏見の目。口さがない誹謗中傷。同情から口を塞ぐ村の人々。込み上げる怒りと恐怖を抑え、身をひそめる女性たち。青春の時を過ごすはずだった行先は、多くの犠牲を出し今はどこにも存在しない国。身も心も傷を負った女性たちの声はかき消され、この事実は長年伏せられてきた。だが、黒川の女たちは手を携えた。
したこと、されたこと、みてきたこと。幾重にも重なる加害の事実と、犠牲の史実を封印させないために――。

12月13日「賛助会員のつどい（公開）」申し込み

『インターネット』でのお申し込み

◀Googleフォームからのお申し込み

東海ジェンダー研究所HPからのお申し込み▶
下記URLにアクセスしてページ下部の参加申し込みフォームからお申し込みください
https://libra.or.jp/ivent-info/meeting/

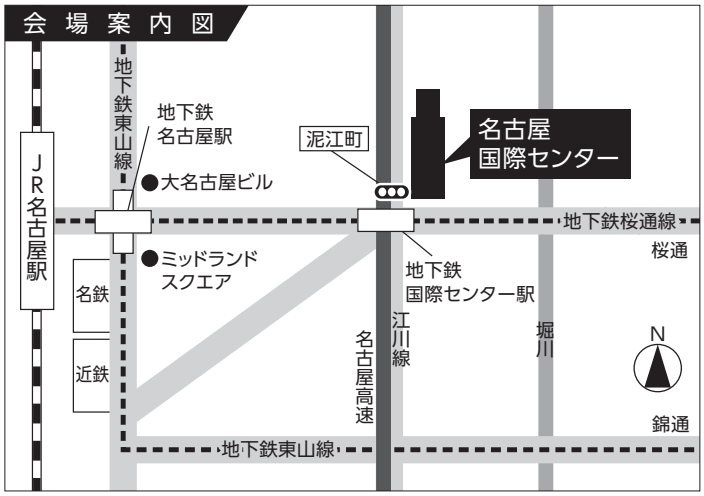
『FAX』でのお申し込み

項目をご記入の上、下記FAX番号までお送りください

FAX：052-324-6592（公益財団法人 東海ジェンダー研究所 事務局あて）

ふりがな			
氏　名			
電話番号		FAX番号	
メールアドレス			

会場案内図



＊ 参加申込書の個人情報は、ご本人の承諾なく本賛助会員のつどい（公開）の実施目的以外に使用いたしません。

ご来場の皆さまへ

★体調がすぐれない方は、ご参加をお控えいただきますよう、お願いいたします。